

平成28年度 春季展
千利休と武将茶人－茶入を中心に

永青文庫

2016年4月16日(土)～6月26日(日)

前期:4月16日(土)～5月22日(日)

後期:5月24日(火)～6月26日(日)

No.	前期	後期	指定	名称	作者	員数	時代
<特別展示 熊本県立美術館寄託作品>							
1	○			徒然草色紙貼交屏風	細川幽齋	6曲1双	桃山～江戸時代(16～17世紀)
2		○		葡萄棚図屏風		6曲1隻	江戸時代(17～18世紀)
3		○		牡丹に睡猫・竹雀図屏風		2曲1双	江戸時代(17世紀)
4	○	○		紅糸威胴丸具足 (6代細川宣紀(1676～1732)所用)		1領	江戸時代(18世紀) 兜は鎌倉時代(13世紀)
5	○	○		黒皺革包紺糸射向紅威二枚胴具足 (13代細川韶邦(1835～76)所用)		1領	江戸時代(19世紀)
<細川幽齋・三齋と茶の湯>							
6	○			細川幽齋像	(絵)田代等有筆 (和歌)細川幽齋筆	1幅	江戸時代・慶長17年(1612)
7		○		細川幽齋像		1幅	江戸時代(17世紀)
8	○	○		細川三齋像	乾英宗単賛	1幅	江戸時代・寛文10年(1670)
9	○			御道具附	細川三齋筆	1幅	江戸時代・元和4年(1618)1月7日
10		○		数寄間書	細川三齋筆	1冊	江戸時代・寛永17年(1640)8月
11	○	○		御家名物之大概		1冊	江戸時代・安政3年(1856)
12	○	○		茶入茶碗写真帖		1冊	江戸時代(18世紀)
13	○			俊成卿定家卿両筆懷紙		1幅	鎌倉時代(12世紀)
14		○		七仏通戒偈	一休宗純筆	1幅	室町時代(15世紀)
15	○	○		唐物茶壺 銘 頼政		1口	中国・南宋～元時代(13～14世紀)
<千利休と武将茶人>							
16	○			千利休書状 松井康之宛	千利休筆	1幅	天正18年(1590)12月23日
17		○		高山右近書状 細川三齋宛	高山右近筆	1幅	慶長19年(1614)9月10日

＜千利休と武将茶人＞						
18	○	○		千利休書状	千利休筆	1幅 桃山時代(16世紀)
19	○	○		細川三斎色紙	細川三斎筆	1幅 桃山～江戸時代(16～17世紀)
20	○	○		唐物尻膨茶入 利休尻ふくら		1口 中国・南宋時代(13世紀)
21	○	○	重要美術品	瀬戸肩衝茶入 出雲肩衝		1口 桃山～江戸時代(16～17世紀)
22	○	○		瀬戸茶入 銘 初風		1口 江戸時代(17世紀)
23	○	○		瀬戸(×切)茶入 銘 ×切		1口 江戸時代(17世紀)
24	○			茶杓 銘 ゆがみ	千利休作	1本 桃山時代(16世紀)
25		○		ゆがみ添え状 (細川三斎書状 平野遠州宛)	細川三斎筆	1幅 江戸時代(17世紀)
26	○	○		南蛮芋頭水指		1口 中国・明時代(16世紀)
27		○		竹二重切花入	千利休作	1口 桃山時代(16世紀)
28	○			竹二重切花入	細川三斎作	1口 桃山～江戸時代(16～17世紀)
29	○			竹蓋置	千利休作	1口 桃山時代(16世紀)
30		○		竹蓋置	細川三斎作	1口 桃山～江戸時代(16～17世紀)
31	○	○		茶杓 銘 靄	細川幽斎作	1本 桃山～江戸時代(16～17世紀)
32	○	○		茶杓 舟伊与	細川三斎作	1本 桃山～江戸時代(16～17世紀)
33	○	○		茶杓 銘 けつりそこなひ	細川三斎作	1本 桃山～江戸時代(16～17世紀)
34	○	○		茶杓 銘 くろつる写	細川三斎作	1本 桃山～江戸時代(16～17世紀)
35	○	○	重要美術品	黒楽茶碗 銘 おとごぜ	長次郎作	1口 桃山時代(16世紀)
36	○	○		瀬戸(芋子)茶入 銘 白いと		1口 桃山時代(16世紀)
37	○	○		阿弥陀堂釜写	大西浄清作	1口 江戸時代(17世紀)
38	○	○		雲龍釜		1口 桃山時代(16世紀)
39	○	○		四方釜 銘 とまや	大西浄清作	1口 江戸時代(17世紀)
40	○			茶杓 銘 さかひ	古田織部作	1本 桃山～江戸時代(16～17世紀)
41		○		茶杓	古田織部作	2本 桃山～江戸時代(16～17世紀)
42	○	○		呼継茶碗		1口 桃山～江戸時代(16～17世紀)
43	○			茶杓 銘 安禅寺	小堀遠州作	1本 江戸時代・元和4年(1618)
44		○		竹一重切花入 銘 白菊	小堀遠州作	1口 江戸時代(17世紀)
45	○	○		熊川茶碗 銘 山名		1口 朝鮮・朝鮮時代(16～17世紀)
＜永青文庫所蔵の茶入＞						
46	○	○		唐物尻膨茶入 銘 下草		1口 中国・南宋時代(13世紀)
47	○	○		南京染付茶入(青花共蓋小壺)		1口 中国・明時代(17世紀)
48	○	○		唐津(胴×)茶入		1口 桃山時代(16世紀)
49	○	○		瀬戸茶入 銘 山桜		1口 江戸時代(17世紀)
50	○	○		瀬戸瓢箪茶入		1口 江戸時代(17世紀)
51		○		瀬戸肩衝茶入 銘 揚顔		1口 江戸時代(17世紀)
52	○	○		瀬戸肩衝茶入 銘 洪紙菴		1口 江戸時代(17世紀)
53	○	○		瀬戸耳付茶入 銘 杜若		1口 桃山時代(17世紀)
54	○	○		瀬戸肩衝茶入 銘 浪華		1口 江戸時代(17世紀)

【次回予告】

平成28年度夏季展「歌仙兼定登場」

歌仙兼定と呼ばれる一振りの刀がある。刀工・二代兼定(之定)によって打たれ、肥後熊本藩の基礎を作った細川忠興の愛刀であった。

本展では忠興ゆかりの歌仙兼定を中心に、武家の魂というべき武器・武具類を展示し、その魂を後世に伝えるため記録に努めた細川家の姿をご覧いただきたい。